



競技ルール

----- 【競技運営概要と公式トリック】 -----

▼運営概要

ウッドワンけん玉ワールドカップ廿日市 2023 (以下 KWC2023) のエントリー要綱です。広島県廿日市市の会場 (以下、廿日市会場) にて予選 (=7月29日) ならびに決勝 (7月30日) からなる本戦競技を行います。

また、7月29日にはリモート環境からのオンライン予選参加枠を『トライアル部門』として設けます。本戦決勝進出者は、廿日市会場予選得点上位者ならびにワイルドカード、シード選手から決定します。

※廿日市会場の受付は7月29日9時半～11時半、開会式12時、競技開始13時を予定しています

※トライアル部門は7月29日午前中の実施となります

※トライアル部門からは決勝進出や年代別表彰の対象となりませんので予めご注意ください

エントリー受付期間は2023年5月19日 (金) ～7月2日 (日) です。

出場資格、エントリーカテゴリ、エントリー費用等詳細は
公式サイトからエントリー要綱のご確認をお願いします。

<https://www.gloken.net/jp/kwc/>

▼公式トリック (技)

けん玉ワールドカップ2023公式トリックとして発表したレベル1～12の各10個 (=計120個)、並びにKWC2020以降使用しているレベル0.5の20個を公式トリックとし競技を実施します。

公式トリック紹介ページ:

<https://www.gloken.net/jp/blog/202304241620/>



-----【予 選 日 (大会 1 日目)】-----

▼予選競技

- ・ 3 分間の制限時間内に、ご自身で選択した 5 つのトリックに挑戦し、これを 2 回行います
- ・ 2 回目は、1 回目を選択した 5 つのトリックとは異なるトリックから選択してください
- ・ 各回、5 つのトリックの中で、挑戦する順序は自由とします
- ・ 各回、使えるけん玉は 1 つのみとし、各回の途中で変更することは不可とします
(2 回目には、1 回目と異なるけん玉を使用することができます)
- ・ 各回、制限時間内に成功したトリックのレベルに応じた点数を獲得できます
予選競技に「ブザービート」はありません。制限時間内にトリックを完了してください
- ・ 予選時の最大得点
一般エントリー：各回 50 点、2 回合計で 100 点が最大得点となります
初級エントリー：各回 10 点、2 回合計で 20 点が最大得点となります
- ・ 予選結果上位からの決勝進出者決定については、相互ジャッジの質をあげ公平性を担保するため、予選最終組での出場を必須とします。エントリー時に希望を募ります。
ワイルドカード枠での選出についてはこの限りではありません。

※競技終了後、得点集計フォームに選択トリックと成功・失敗を入力し、申請して頂きます

※出場場所、エントリーカテゴリに関わらず、予選結果はオンラインフォームでの申請となります

廿日市会場での本戦競技出場者も、スマホ、タブレット等で現地からオンラインフォームにて申請できる準備をお願いします (会場での Wi-Fi 提供はありません)

▼ジャッジ方式

廿日市会場での本戦出場者

グループ内での相互ジャッジにて予選競技を進行します。

- ・ 指定するグループ (1 組 3~4 名) に分かれ、MC の進行に合わせて、順番に予選を実施します
- ・ 待機中は同じグループの選手が行う競技のジャッジ並びに記録をお願いします

オンラインでのトライアル部門出場者

セルフジャッジ (自己申告制) にて予選競技を進行します。

- ・ 記録や採点はご自身で行って頂きます (保護者、同伴者等の手助けはもちろん OK です)。
- ・ 指定する Zoom リンクへ競技開始時間までに入室してください
(進行上、時間が前後する場合がございます。あらかじめご了承ください)



- ・開始時間になったら、MC の進行に合わせて予選を実施します
- ・Zoom 内では、トリック実施の全景が映り込むよう努めてください。通信環境等の都合で、Zoom 参加ができなかった場合も、ご自身で予選を実施し、得点を申請して頂ければ集計対象として扱います

注意事項（廿日市会場出場者・オンライン出場者共通）

- ※参加者全員が正直に、正確に申告することが前提となりますので、ご協力お願いいたします
- ※指定する締切りまでに集計フォームへの回答が無い場合、「記録なし」となりますのでご注意ください
- ※フォーム送信が間違っていた場合、締切りまでに再送信ください（後から届いたものを記録とします）
- ※予選終了後、使用した予選シートはそのまま記念としてお持ち帰りください

▼競技スケジュール（予定）について

オンラインでのトライアル部門出場者

提携リモート会場等の受付時間につきましては会場毎に異なりますので紹介ページをご参照ください。
トライアル部門の競技実施は 7 月 29 日午前 10 時～11 時半頃の間を予定しています。

廿日市会場での本戦出場者

廿日市会場の受付は午前 9 時半～11 時半を予定しています（正午より開会式）。
競技開始は 13 時頃を予定、その後グループ毎に 16 時頃まで実施します。
予選グループ分け結果は 7 月 25 日までにご連絡いたします。また、大会当日までに SNS 等に登録名にて公表します。

進行に関しては都度 MC からアナウンスがあります。いずれも進行上、予定からずれることも起こりえますので、ゆとりを持って臨んで頂けますようお願いいたします



-----【本戦決勝競技（大会 2 日目）への進出者について】-----

▼本戦決勝競技（ファイナル）進出者

以下、2,3 については廿日市会場での予選出場選手であることを必須とします。

1. シード選手：

KWC 過去 3 年間の優勝者、並びに、以下に指定する大会の直近優勝者が KWC2023 にエントリーした場合、決勝シード権を付与します

- ・ North American Kendama Open オープン部門
- ・ Battle At The Border オープン部門
- ・ Europe Kendama Championship オープン部門

2. 予選通過者：シード選手を除き、上位 20 位タイまで。但し予選最終組での出場を必須とします

3. 特別枠（ワイルドカード）：予選結果より、グローバル枠 2 名、国と地域枠 2 名、大陸枠 1 名、ジェンダー枠 3 名、年代別枠 2 名を最大として選出します

※シード選手、特別枠が最大人数に満たない場合で、かつ、ファイナル進出者合計が 36 名未満となった場合には、決勝進出者合計が 36 名となるよう、当日予選通過者枠に振り替えます

※予選得点が同点時、決勝得点の算出方法で順位を決定します（それでも同点の場合、タイとします）

▼特別枠（ワイルドカード）の選考について

ファイナル進出者を決める際、以下の該当者を特別枠として選出します。

グローバル枠

予選得点上位から決勝進出できなかった選手のうち、予選通過者の最大多数国籍を除く選手の中から得点上位者を特別枠とする。ただし、予選得点が 40P 以上であることとします。

国と地域枠

グローバル枠を含めてファイナル進出者を輩出できなかった国・地域を対象に、各国・地域から 1 名ずつ選出し、成績上位者を特別枠とします。ただし、予選得点が 40P 以上であることとします。



ジェンダー枠

男女別でカウントし、当日予選通過者の中で少数となった性別の選手数が通過者数の20%を上回らない場合、少数となった性別の選手で決勝進出者以外の中から成績最上位者を特別枠とします。ただし、予選得点が40P以上であることとします。

大陸枠

海外選手枠、国と地域枠を含めても決勝進出者を輩出できなかった大陸を対象に、各大陸から1名ずつ選出し、成績上位者を特別枠とします。大陸区分は、以下とします。

欧州、アフリカ、アジア、北米、中南米カリブ海、オセアニア

年代別枠

シード枠、海外選手枠、国と地域枠、大陸枠、ジェンダー枠をすべて含めてもファイナル進出枠を確保できなかった各年代の最上位者を対象に、成績上位者を特別枠とします。年代別区分は、年代別表彰と同じとします。

----- 【決 勝 日 (2 日 目) について】 -----

▼ファイナル競技概要

- ・競技方式はフルマークラダー方式（10トリック以上、最大30トリックまで）とし、ステージ上で1名ずつ実施します
- ・競技時間は3分間で、使用トリックは、レベル3~12とします
- ・ファイナル競技では、ブザービート（制限時間まぎわのトリック実施）の扱いを以下とします

制限時間終了直前に開始したトリックの継続中に終了ブザーが鳴った場合、そのトリックについては継続を認め、成功した場合には得点加算対象とします。失敗した場合にはその時点で終了となります

※出走順は、申請トリックのフルマーク時における最終得点順とします（低→高）

▼フルマークラダー方式と得点について

【基本ルール】

- ・プレーヤー自身で選択したトリックに順番に挑戦し、フルマーク（全部成功）を目指します
 - ※参加者はあらかじめ挑戦するトリックと順番を選択し、指定時間までに申請します
 - ※ラダーとは順番に挑戦する方式を意味し、申請後の順番変更はできません



【得点とボーナス得点】

- ・成功したトリックのレベルを二乗した数を得点とし、合計得点を算出します
- ・1つのトリックにつき、加点は1回とします
- ・レベル11、12トリックはボーナス得点としてそれぞれ30点、50点が加算されます

(成功時の得点)

レベル10→100点、レベル9→81点、レベル8→64点、以下同様

レベル11→121点(11の2乗)+ボーナス30点=151点

レベル12→144点(12の2乗)+ボーナス50点=194点

- ・フルマークした場合には、ボーナス得点として選択した全トリックのレベル数の和が加算されます。

(例)

選択トリックレベルが、3、5、7、8、8、7、9、6、10、11、とすると、

フルマーク時にはレベル数の総和である「74点」が加算されます

【スキップ】

- ・フルマークラダーへの挑戦中、指定トリックを飛ばすこと(=スキップ)を可能とします
 - ※スキップを使う場合は、意思表示をしてください(「スキップ」と叫ぶなど)
 - ※スキップしたトリックの得点は加算されません(減点はありません)
 - ※間違っただけでトリックを飛ばした場合もスキップ扱いとなりますが、途中で気づき飛ばしたトリックから改めて順番に再挑戦することは可能です
 - ※トリックを残し時間切れとなった場合、残りのトリックはスキップ適用とします(オートスキップ)

▼ファイナル競技得点の算出例

最終順位は、予選競技得点とファイナル競技得点の合算をもって決定します。

ファイナル競技の得点算出方法は以下の例の通りとなります。

(例) 申請したトリックレベルの順が、3⇒5⇒8⇒6⇒7⇒6⇒9⇒10⇒11⇒12 とする

- A. 3⇒5⇒8⇒6⇒7⇒6⇒9⇒10⇒11⇒12 と、申請したトリック全て成功させた場合、ファイナル競技得点は、

9+25+64+36+49+36+81+100+121+144

+

ボーナス加点

- ・レベル11 ボーナス得点：30点
- ・レベル12 ボーナス得点：50点
- ・フルマークボーナス得点(レベル数の和)：77点



= 822 点となります

B. 3⇒5⇒8 (スキップ) ⇒6⇒7⇒6⇒9⇒10⇒11⇒12 (時間切れ) の場合、
ファイナル競技得点は、

9+25+0 (加算なし) +36+49+36+81+100+121+0 (加算なし)

+

ボーナス加点

- ・レベル 11 ボーナス得点：30 点
- ・フルマークボーナス得点：無し

=487 点となります

----- 【表彰について】 -----

▼最終順位上位者

本戦競技の総合上位入賞者を表彰します。

(最終順位は、予選競技得点とファイナル競技得点の合算をもって決定します)

総合優勝者には賞金・賞品が贈呈されます。

※賞金額は別途発表します

また、男女別に分け、総合優勝者と異なる性別選手の結果から最優秀選手を決定し、別途表彰します。

▼年代別予選得点上位者表彰

本戦出場者の予選結果より、年代別成績優秀者を決定し表彰します (1~3 位)。

- ・ 3 歳以下の部
- ・ 4 歳の部
- ・ 5 歳の部
- ・ 6 歳の部
- ・ 7~9 歳の部



- ・ 10～12 歳の部（総合ならびに男女別）
- ・ 13～15 歳の部（総合ならびに男女別）
- ・ 16～19 歳の部（総合ならびに男女別）
- ・ 20 代の部（総合ならびに男女別）
- ・ 30 代の部（総合ならびに男女別）
- ・ 40 代の部（総合ならびに男女別）
- ・ 50 代の部（総合ならびに男女別）
- ・ 60 代の部（総合ならびに男女別）
- ・ 70 代の部（総合ならびに男女別）
- ・ 80 代の部（総合ならびに男女別）
- ・ 以降、出場者の年代に合わせて部門を設置

※初級エントリー、一般エントリーの括りなく、合計得点にて表彰対象者を決定します

※年齢は 7 月 29 日時点での満年齢を使用します

※10 歳以降の各部は、男女別での集計も実施します

※総合順位と男女別順位が同一の場合は、男女別表彰状の発行は行いません

（例）30 歳代総合 1 位＝男性部門 1 位の場合、男性部門としての表彰は行わないこととします

▼フルマーク賞

廿日市会場出場者ならびにオンラインによるトライアル部門出場者で、予選競技において選択した 10 個のトリックをすべて成功させた方を対象とします。

▼「ケンミンけん玉力」ランキング発表

都道府県別の予選合計得点と人口から、「ケンミンけん玉力」を算出しランキング発表します。

（例）

長野県から参加者の総得点が 341 点（初級エントリー、一般エントリーの全参加者得点の合計）

長野県の人口 2,063（千人）

ケンミンけん玉力 $=341 \div 2.063 = 165$ とします（小数点以下四捨五入）

※廿日市会場出場者ならびにオンラインによるトライアル部門出場者の予選競技結果を集計します

※初級エントリー、一般エントリー別は問わず、全参加者の予選得点を合計します

※人口は総務省統計局の人口推計（千人単位）を使用します

※郵送物が届くことを前提としたエントリー登録時の住所を元に算出します

※参加者がある全都道府県のランキングを発表いたします



▼賞状の発行に関して

本戦出場者：決勝上位者、年代別予選得点上位者、フルマーク賞対象者には賞状をお渡しします

トライアル部門出場者：フルマーク賞対象者には後日メールにて電子版賞状をお送りします

※出場場所を問わず、ケンミンけん玉力表彰対象者には後日メールにて電子版賞状をお送りします

-----【使用けん玉について】-----

- ・使用けん玉の最大寸法は以下とします。

けんの高さ：170mm

玉の穴の直径：23.5mm（10円玉のサイズです）

- ・「玉」の穴は1つとします（糸穴を除く）。
- ・けん玉の皿は、3つとします。
- ・けん玉に取り外し可能なアタッチメント（付属物）の使用は認められません。
- ・けん玉への磁石及び磁性塗料の使用は禁止とします。

※廿日市会場出場者は受付時にけん玉チェックがあり、最大3本までに検査シールを貼ります

また、決勝進出者はファイナル競技出場前にもチェックします

※リモート環境からのトライアル部門出場者はご自身で使用けん玉のチェックをお願いします

※「取り外し可能なアタッチメント」については、3分間の競技中に取り外しや交換をして、1つのけん玉で競技を行こなうという主旨を逸脱することを防ぐためのものであり、ネジで強固に固定されているもの、埋め込みされているもので競技中に取り外さない場合には、使用に問題はございません

（トリックよって重りや粘着物を着脱することを防ぐためのルールです）

※けん玉のメンテナンスに留意し、競技中に糸が切れたり使用不可の状態にならぬようご注意ください

競技途中でのけん玉の変更は認められません



----- 【トリックに関する注意事項について】 -----

- ・予選競技、決勝競技ともに、MCの開始合図までは、けん玉がささった状態でけん玉を保持しておくこととします（片手または両手）
- ・トリック挑戦中に、指のポジションを動かすことや糸を外す動作は、もう片方の手等、身体他の部位を使わない限り自由です。もう片方の手等を使った場合は「失敗」となりますので、新たにやり直してください（※両手を使用する指定があるトリックの場合はこの限りではありません）
- ・静止技の途中で、けん玉が手や衣服に触れた場合には動作を中止し、新たにやり直してください
手や衣服に触れていることが判った場合、そのトリックは「失敗」と判断します
- ・競技中、紐に結び目ができたり、皿等に巻き付いて長さが変わることは問題ありません
- ・ダウンスパイクは、けん玉がささる時、けん先が水平よりも下向きになっていることとします
- ・すくいけんは、けん玉がささる時、けん先が水平よりも上向きになっていることとします
- ・特に指定がない場合、持ち方に制限はありません
- ・特に指定がない場合、回転数に制限はありません
- ・特に指定がない場合、小皿（側）、大皿（側）を区別する必要はありません。また、両方を移動するトリックの場合、順序は問いません
例）うぐいすや月面着陸、たけうまはどちらの皿を使っても問題ありません
例）日本一周は小皿⇒大皿⇒けん、大皿⇒小皿⇒けん、どちらの順序でも問題ありません
- ・特に指定がない場合、トリックの前段となる動きに制限はありません
例）地球回しの場合、とめけんスタートでも、ふりけんスタートでも構いません
- ・特に指定がない場合、回転の方向に制限はありません
例）ワールウィンドをする場合、おもて回転でもうら回転でも構いません
- ・中皿を含む「一周系」トリックについては、中皿が含まれる動きが最後となるように行ってください
例）世界一周は最後の動きが中皿～けん、ジャグル一周は最後の動きが中皿～ジャグルけんとなります。大皿、小皿の順序は問いません
- ・日本一周等で、玉が皿に乗ったあと、同じ皿上で玉を動かし穴の位置を修正する動きは認められません（手首のひねり等は問題ありません）
- ・静止技については、静止状態のみで成功か失敗かを判断をする技はありませんので、各自のやりやすいタイミングで次の動作へ進むようにしてください
- ・KWC2023 Lv.6-10 では、両手で玉をもった状態からトリックを始めてください
- ・KWC2023 Lv.6-8 では、いったん手を完全に離し、ユニコーン状態を作ってから次の動作をしてください

各プレイヤーのルール理解と、正直な申告が大会競技の根底とスムーズな進行を支えています。ご理解頂きますよう、どうぞよろしく願いいたします。

※廿日市会場本選競技ファイナルでは、ビデオ判定時に、手や衣服に触れていることが判った場合、そのトリックは「失敗」と判断し、なおかつ決勝得点から200点を減点します。ビデオ判定は3分間の競技終了後、審判がその必要性を判断した場合に実施します。